

平成 28 年度実施 大網白里市住民協働事業 成果報告書

事業名	地域の子育てサポート事業	
事業主体	実施団体	市（関係課）
	大網白里まちづくりサポートセンター	子育て支援課

事業費	予算額	決算見込額	市補助金額（交付決定額）
	467,800円	433,389円	300,000円

【 ①課題 ②目的・効果について 】

次の事項がわかるように、事業概要と成果を記入してください。

- どのような地域課題（行政課題）、住民ニーズに対して、
 ○いつ ○どこで ○誰を対象に ○どんなことを ○どのような方法で実施し、
 ○どのような効果が得られたか。 ○住民の満足度は得られたか。

近くに頼れる身内がない核家族世帯や共働き世帯の家庭では、子育ての負担の多くは母親にかかっており、本市の一時預かり保育は、利用したいときに利用できない程いっぱい、子どもを抱えた多くの母親たちの悩みになっています。これらの子育て世帯を地域でどう支援するかが課題となっていました。地域で子育て支援をすることで、安心して働け、一時預かりに申し込めない心配をする事無く用事を済ませられるなど、日常生活のストレスを軽減できるようになると考え、子育てサポートクラブを立ちあげました。

国が進めるファミリーサポートセンター事業に基づき、支援できる人（提供会員）を養成し会員登録を行い、アドバイザーが仲介役となり、支援して欲しい人（利用会員）と結び付け子育て支援を行いました。

4～5月、子育てサポートクラブの立ちあげのための準備、アドバイザーの起用、サポートクラブの代表を決定。

6月 サポートクラブ設立、全国ファミサポネットワークに加盟

- ・大網白里市在住・在勤の方に利用を呼びかける。
- ・地区回覧でサポートクラブの設立を周知
- ・民生委員（大網・白里地区）に対して、サポートクラブの全容の説明を行う。

7月16日 説明会開催（参加者25名）、利用会員、提供会員共に受け付け開始

- ・2月迄の会員数は。提供会員28名利用会員12名両方会員1名
- ・利用の目的は、保育園・幼稚園などの送り迎えがほとんどで、変わったところでは、引っ越しの片付けのために利用された方もいました。
- ・説明会のあと、昨年度の基礎講座受講生に対し、フォローアップ研修実施
 「熱中症と対処方」をテーマに、女性消防団員の方に講師をお願いしました。

9月～11月実施

- ・提供会員のための基礎講座を開講（新規受講生8名 全12回）
- ・提供会員に登録した方、昨年度からの受講生のために24時間の講習を行いました。
- ・講座を欠席したかたの補修事業のために講義の内容をDVD化するため、あみなび会にビデオ撮りを依頼。

10月20日 全国ファミサポネットワークのアドバイザー講習会・交流会に参加

- ・スキルアップのために、アドバイザーと代表が参加

1月 講座の映像できあがり

- ・ハードディスクに入力した形で映像化ができあがり受け取り、パソコンで見られるように準備をしました。

2月 につぼん子育て応援団の地域まるごとケア・プロジェクト、子ども子育て支援新制度フォーラムに参加、国の考えや全国の子育てに関する情報を勉強しました。

2月25日 会員相互の交流会開催

会員相互が顔見知りの関係を保ち、急な預かりであっても、子ども達が不安にならないように顔を繋ぐために開催。提供会員のために、小さな子どもにもなれてもらいたく、まだ利用会員が少ないので、小規模保育園（エンジェルハートナーサリーの0～3歳児）の子ども達、提供会員の子どもにも遊びに来てもらいました。

- ・童歌で遊び、紙芝居を楽しむ
- ・幼児の視界体験を行う

アドバイザーは、通常月曜と木曜日の午前中、週2回事務処理を行いました。他に提供会員と利用会員との事前打ち合わせを、双方の希望日時に合わせて、提供会員の自宅で行うため出向きます。アドバイザーの不在日には、代表が代行しアドバイザーに引き継ぎました。

子育てサポートクラブの活動を周知するため、通信を年2回発行予定でしたが、通信を発行できるほどの内容がなく、1回のみとしました。交流会の内容も紹介したく、発行は3月になってしまいました。

- ・2月の交流会で広報紙の名称を「キラ★のび通信」と、交流会参加者と決めました。

7月に行った説明会の参加申し込みは30名と、関心のある方が多いと思いました。説明会に参加して内容を知っている方が、後に会員申し込みをと徐々に会員数も増えます。意外にも近隣の市外からの問い合わせもあり、社会的にも必要とされていると感じました。利用された方からは、助かったと喜ばれています。ただ、夕方以降の利用の希望が多く、提供会員の活動に偏りが出てきました。利用会員のニーズに見合う提供会員の確保が今後の課題となりました。

【 ③企画力 】

団体と市の役割分担について、実際に担った役割を記入してください。

団体の役割	市（関係課）の役割
<ul style="list-style-type: none"> ・サポートクラブの立ちあげ、周知、会員募集、会員登録 ・サポートクラブの運営 ・基礎講座の実施、フォローアップ講座開催 ・会員相互の交流 ・アドバイザーのスキルアップ ・市との意見交換、相談 	<ul style="list-style-type: none"> ・講座・交流会等の開催補助 ・会員募集（区長回覧、広報紙等） ・運営についての意見交換

また、その役割分担は適正であったかについて、自己評価（☑）をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市（関係課）
<input type="checkbox"/> 適正であった <input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由） 通信の発行以外は予定通り進めることが出来たと思います。	<input checked="" type="checkbox"/> 適正であった <input type="checkbox"/> 概ね適正であった <input type="checkbox"/> あまり適正でなかった （理由）

事業スケジュールについて、当初の計画と実際に実施した内容（実績）を詳細に記入してください。

当初の計画	実 績
女性労働協会へ事務手続き 子育てサポートクラブ立ちあげ アドバイザー決定、 27年度子育てサポーター養成講座受講生の会員登録	女性労働協会へ事務手続き ・8月の援助活動開始までに、全国ファミサポネットワークに加盟、保険の手続き等行う 4月アドバイザーを決定、5月活動開始 4月～5月 サポートクラブ立ちあげに関する資料作成 会則・入会案内など 27年度子育てサポーター養成講座受講生

<p>子育て支援課と協議(講座の日程、講師依頼など)</p> <p>子育てサポートクラブの説明会 毎月1回開催</p> <p>利用会員登録随時受付・子育てサポーター登録開始 支援開始</p> <p>子育てサポーター養成講座開講(12回)ビデオ撮影</p> <p>①「保育のこころ」2時間</p> <p>②「心の発達と保護者のかかわり」2時間</p> <p>③「障がいのある子の預かりについて」2時間</p> <p>④「身体の発達と病気」2時間</p> <p>⑤「小児看護の基礎知識1」2時間</p> <p>⑥「小児看護の基礎知識2」2時間</p> <p>⑦「事故による子どもの傷害」2時間</p> <p>⑧「子どもの生活へのケアと援助」2時間</p> <p>⑨「子どもの遊び」2時間</p> <p>⑩「子どもの栄養と食生活」3時間</p> <p>⑪「子育て支援サービスを提供するために」3時間</p> <p>講座修了証交付申請</p> <p>会員の交流会・フォローアップ講座開催</p>	<p>の会員登録5月より開始</p> <p>講座の日程、講師依頼6月までに決定</p> <p>子育てサポートクラブの説明会</p> <p>7月16日に実施</p> <p>毎月1回、第2月曜日10時に実施</p> <p>会員登録 7月の説明会以降随時受け付け</p> <p>8月より支援開始</p> <p>基礎講座として提供会員登録後受講</p> <p>講座収録 あみなび会に依頼①～⑨実施</p> <p>9月9日 開講式</p> <p>②「心の発達と保護者のかかわり」</p> <p>③「障がいのある子の預かりについて」</p> <p>9月30日</p> <p>①「保育のこころ」</p> <p>④「身体の発達と病気」</p> <p>10月14日</p> <p>⑤「小児看護の基礎知識1」</p> <p>⑥「小児看護の基礎知識2」</p> <p>10月18日</p> <p>⑦「事故による子どもの傷害」</p> <p>⑧「子どもの生活へのケアと援助」</p> <p>11月8日</p> <p>⑨「子どもの遊び」</p> <p>⑩「子どもの栄養と食生活」</p> <p>11月25日</p> <p>普通救命講習会</p> <p>⑪「子育て支援サービスを提供するために」</p> <p>閉校式、講座修了証交付</p> <p>会員の交流会、年2回実施</p> <p>11月25日</p> <p>27年度受講生と提供会員交流会</p> <p>2月25日 全体交流会</p> <p>フォローアップ講座</p> <p>7月16日</p> <p>テーマ「熱中症と対処法」</p> <p>講師 大網白里市女性消防団員 新妻美保</p>
---	---

<p>広報紙 作成・配布</p> <p>アドバイザースキルアップ</p>	<p>広報紙 「キラ★のび通信」 2月の交流会で名称決定 (3月発行)</p> <p>全国ファミサポネットワークのアドバイザー講習会・交流会に2名参加</p> <p>にっぽん子育て応援団の地域まるごとケア・プロジェクト、子ども子育て支援新制度フォーラムに参加</p>
---	---

また、当初の計画と実績をみて、事業スケジュールの組み立ては妥当であったかについて、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<p><input type="checkbox"/> 適正であった</p> <p><input checked="" type="checkbox"/> 概ね適正であった</p> <p><input type="checkbox"/> あまり適正でなかった</p> <p>(理由)</p> <p>交流会の開催や広報紙発行など、予定通りに出来ないものもありました。</p> <p>サポートクラブの運営自体は予定通りに出来たと思います。</p>

【 ④継続性 】

住民協働事業により「人・もの・情報・スキル」等、団体の活動基盤が強化した点や活性化した点について記入してください。

(例：〇〇を購入したことにより〇〇のスキルが上がり、効率的に活動できた。〇〇活動により団体の認知度が高まり、参加者が増えるとともに会員も増えた。)

本当は行政委託で無ければ加盟できないファミサポネットワークに、協働事業だからと説得をして、受け入れてもらえたことは、保険加入などの事を考慮しても、大きな一歩だったと思います。会員になる市民にとっても、安心して利用出来る一因だと思いました。

また、その結果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体
<input checked="" type="checkbox"/> 強化、活性化した <input type="checkbox"/> 概ね強化、活性化した <input type="checkbox"/> あまり強化、活性化しなかった (理由) 前例のない事を行っている責任の重さを感じています。

【 ⑤必要性 】

団体と市が協働することで、行政サービスの充実・効率化等につながったか、協働による効果について記入してください。また、協働事業として実施し、良かった点や問題点等について記入してください。

団 体
行政の職員の方も、今後、行政の事業になる前提なので、単なる市民活動ではないだけに、会議等へも積極的に参加して下さり、相談事など真剣に取り組んでいただけました。
市
提供会員の養成、子育てサポートクラブを設立し、活動を実施していることは本市における子育て支援政策の充実につながっている。また、市と協働することで、利用者の安心が得られやすくなり、会員数の増加や、その活動を広げていくことが期待できる。

また、その協働による効果について、自己評価 (☑) をしてください。自己評価の理由もあれば記入してください。

団 体	市 (関係課)
<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由) ファミリーサポート事業の基盤作りに貢献出来て良かったです。	<input checked="" type="checkbox"/> 効果があった <input type="checkbox"/> 概ね効果があった <input type="checkbox"/> あまり効果はなかった。 (理由)